

“整形外科の外来に関して・・・”

令和5年4月から整形外科の外来体制がかわりました。

- ・月曜日は午前が黒田早苗医師、午後が奇数週が黒田昌之医師(一般整形と脊椎)、偶数週が大谷俊哉医師(一般整形とスポーツ)
- ・火曜日は午前が黒田早苗医師、午後が相原雅治医師
- ・水曜日は相原雅治医師で午後診察はありません
- ・木曜日は午前が黒田早苗医師と相原雅治医師の併診
- ・金曜日は午前が黒田早苗医師と人工関節の術前後診察、午後は大谷俊哉医師(一般整形とスポーツ)
- ・土曜日は交代制(大堀智毅・相原雅治・橋本佳周・橋優太)

☆相原雅治医師は人工股関節と人工膝関節を専門としています
黒田早苗医師はスポーツ整形と人工膝関節を専門としています

センター長の海外探訪記 “シドニーの巻”

人工関節の手術手技向上を目的とした実地講習で、国内では出来ない内容があります。更なる経験値を積む為に海外で行う研修会があります。令和5年6月にコロナ後初で久しぶりの講師を依頼され、オーストラリア・シドニーに伺いました。参加者は山形・千葉・静岡・兵庫からの7名の人工股関節専門を目指している若いドクター方です。金曜の夜便で出国し、土曜の朝に着きそのまま夕方まで講義をして、みんなで夕食。日曜朝から夕方までラボで実技講習。終わり次第シドニー空港に向かい、月曜には帰国という弾丸海外出張でした。。

自由時間はたった数時間でしたが、秋の港町シドニーの海風は気持ちよく、「やっと日常が戻ってきたかあ〜」と感慨深いコロナ後の初海外でした。

せめて半日でも自由時間を作って、コアラでも見に行きたいなあ〜と思ったあつという間の海外でした。



➤ 主に「人工股関節&人工膝関節置換術」および「膝関節鏡による靭帯再建や半月板手術」を中心とした高度な専門医療を提供しております。

➤ 関節外来：相原雅治 黒田早苗 月～金曜 午前 火・木曜 午後
➤ スポーツ外来：黒田早苗 月・火・木・金曜 午前 大谷俊哉 金曜・偶数週月 午後
➤ 理学療法士：岡本浩明 小山晴菜 田中佑樹 別所慶宗
➤ 受付時間：平日午前9時～11時半、午後4時半～6時半 (水曜午後診休診)

土曜午前9時～11時半 (祝日休診)
相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000
箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052
ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている“強い気を持っている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にお伝えください。

「ぶらな」

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

相原病院・人工関節センターはこの13年間、国公立の基幹病院と同じレベルの専門医療を提供しております。手術件数は大病院と同等以上ですが、リハビリを含めた治療内容は個人に合わせたアットホームな雰囲気を持続しつつ、これからも更に最新で高度な医療を提供し続けることを常に心がけて診療にあたっております。

“新しく黒田早苗医師が着任しました！”

4月1日より、黒田早苗医師が整形外科医師・リハビリテーション科部長として着任しました。前職は市立伊丹病院・整形外科医長で専門は膝関節鏡手術と人工膝関節置換術です。それに伴い、外来体制が一部変更となりました。

外来に関しては今まで通り、一般整形外科を含めて対応いたします。相原雅治医師は人工股関節・膝関節置換術を専門とし、黒田早苗医師はスポーツ整形と人工膝関節を専門としています。当院の入院、手術は主に人工関節やスポーツ外傷の関節鏡手術で枠が埋まっており、骨折などの入院や手術などは当院での対応が困難なため近隣の救急病院へ、そして更なる専門医での精査加療が望ましいと判断した場合には、近隣の市立病院や大阪大学病院などの基幹病院へ紹介をさせていただきます。

新型コロナは5/8～感染症疾患としての扱いが変わりました。感染者数や死亡者数は減っていますが、医療機関内ではマスクの着用や手指衛生に関しては引き続き行うことを厚労省では推奨していますので、ご協力をお願い致します。



新型コロナにより、当院でも外来制限や入院時の面会制限など、多くのご不便を皆様にお願ひ致しました。しかし、皆様のご理解とご協力のお陰で、スタッフも患者の皆様にも当院での大きな新型コロナクラスターの発生を防ぐことが出来たことを、スタッフ一同で感謝しております。

引き続きマスク着用や面会制限など患者の皆さんにご不便をお願いしておりますが、我々も現時点で出来ることをやっていくしかないと考え、感染予防を取りながら地域医療のお役に立てるように日々努力をしておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

相原病院・人工関節センター新聞
第21号
令和5年7月吉日



新メンバーで頑張ります！

近隣病院の
人工関節手術数
(R2,3年HPより)

病院名	症例数
相原病院 (R3年)	226
(R4年)	230
箕面市立病院	84
市立豊中病院	119
市立池田病院	116
大阪医科大学病院	178
宝塚市立病院	79
済生会千里病院	65
済生会吹田病院	82
北野病院	84



医療法人 啓明会
相原病院
Provides the best medical service

”着任のご挨拶”

リハビリ科部長 黒田 早苗

初めまして、令和5年4月から整形外科医・リハビリ科部長として相原病院に勤務しております黒田早苗と申します。前職は箕面からそれほど遠くない市立伊丹病院でしたので、伊丹病院で診させて頂いていた患者さんの一部は、引き続きこちらで診ることが出来てとても嬉しいです。膝関節を専門としており、手術は人工膝関節やスポーツ整形疾患の膝関節鏡の手術を中心にしていますが、外来診療では専門にとらわれず一般的な腰痛や肩痛などの整形疾患全般や外傷、そして幅広い年齢層の方々の治療に取り組んでいます。



私は明石出身で、中学からサッカーを始めました。岡山大学 医学部在学中は男子部員に交じって汗水を流し、医者1年目には忙しい仕事の合間に国体にも出場しました！（もちろん女子サッカーですよ..）

現役を引退してからはスポーツドクターの資格を取得し、日本サッカー協会の女子チームの医療活動に参加しています。その中でも感慨深い思い出が、リトルなでしこ（17歳以下の中学・高校生中心の次世代のなでしこです）の2010年ワールドカップに帯同したことです。その時の日本代表がみごと“準優勝”を果たしてくれたお陰で、医療チームとして参加していた私にも授与されたFIFA（国際サッカー連盟）の銀メダルが私の宝物となっています。それ以外にもアジアカップのメダルも銀メダルと銅メダルを持っています！

合宿や遠征では選手たちの診察、治療だけでなく、自己ケアの大切さを指導するように心がけています。これは私の日々の診察室内でも同様に行っています。痛みが強いときや怪我の直後には一定期間の安静が必要ですが、必要以上に動かさないと筋肉が落ちたり、関節や身体が硬くなってしまったことによる痛みや機能障害が残ってしまいます。そうならないためにも、投薬や注射などの医療的な治療はもちろんのこと、ご自身でできる運動やケアを指導して日常生活がより快適に送れるように、またアスリートのみならず一般のスポーツ愛好家の方々にも、安全にスポーツ活動を末永く継続していけるようにサポートをしていきたいと考えています。

近年、少しずつ増えてきましたが、女性の整形外科医はまだまだ少ないのが現状です。症状や部位によっては恥ずかしくて受診するのをためらっている方もいらっしゃると思います。勇気を出して受診してください。親身になって対応させていただきます。

整形外科医、スポーツドクターとして皆様の健康と有意義な生活・スポーツ活動のために診療を行ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



平成10年国体

女子サッカー・U17ワールドカップの銀メダルとアジアカップの銀と銅メダルです⇒

←国体女子サッカー出場した若かりし頃の写真です！もうこんな風には走れません..



「人工関節センター・バージョン2.0」

人工関節センター長 相原 雅治

啓明会 相原病院は2009年4月から新病院となりこの地に移転し、同時に整形外科の入院部門は人工関節センターとして稼働を開始しました。

10年間は安定して手術の件数も増え、近隣の市立病院と比較して人工関節の手術数は約2倍程度を行っており、大阪市内の大きな基幹病院と比べても遜色ない手術数を行っています。特に人工股関節に関しては、関西では主に後方から股関節に進入する為、後方の筋肉を切離す必要がありますが、当院では主に前方から筋肉を切らない筋間進入で手術をしているのが特徴です。股関節周囲の靭帯も部分的に温存する低侵襲軟部組織温存前方アプローチで行っており、近隣の病院の手技と比べて大幅に関節周囲の軟部組織を温存しており、術後の姿勢や日常生活での動作制限をしません。その手術手技の見学や研修に北海道から沖縄まで、人工股関節を専門とする整形外科の先生方が数多く来院されています。他の地域の先生方との交流は我々にとっても良い刺激となり色々勉強になる良い機会だと感じています。



長年一緒に働いてきた岡 史朗医師や理学療法士の退職に伴い、スタッフが本年度から一部入れ替わりました。勿論、スタッフの入れ替わりは今までの良いところを残しながら、新しい事を取り入れるにはとても良い機会です。これまで問題がなかった日々の業務を変えていくのは同じメンバーだけではなかなか難しいものなので、新しいスタッフの目線から当院の良いところを再認識し、更に取り入れるべき事柄を話し合っていける良いタイミングと考え、人工関節センターの新バージョンを新スタッフと築き上げていきたいと思っています。新しく色々始めるのは大変ですが、ワクワクしますね！

新戦力の黒田早苗医師はスポーツ整形の関節鏡治療と人工膝関節を専門としています。当院のスポーツ整形外科部門は主に阪大整形外科・スポーツクリニックの患者さんと当院の患者さんの手術とリハビリを行っています。手術は阪大のスポーツ専門のドクターと協力して行っていますが、現時点では関節鏡視下での膝の靭帯再建術は近隣の市立病院では行っていないので、膝の重要な靭帯である前十字靭帯損傷をした時には北摂では阪大か当院で手術を行う場合が多くなっています。

第37回 日本整形外科学会基礎学術集会

English 2022.10.13 (Thu) 14:10~15:40 相原 雅治 相原病院整形外科

ホーム シーガイアコンベンションセンター

オンライン投稿について Annual Research Meeting of the Japanese Orthopaedic Association

シンポジウム8

解題：バイオメカニクスを応用した人工関節の開発 OnDemand

10月13日 (木) 14:10~15:40 第4会場

座長：須藤 啓広 (三重大学)
山本 卓明 (福岡大学)

演者：股関節/膝関節の周囲構造の臨床解剖学
秋田 恵一 (東京医科歯科大学)

低侵襲人工股関節の実践-関節包切開温存による静的安定性を求めて-
相原 雅治 (啓明会 相原病院整形)

学会活動ですが、昨年は日本人工関節学会、日本股関節学会、日本整形外科基礎学会での発表や講演の機会も与えて頂き、それらの学術誌に論文発表も行っています。

